

ジョセフ・L・マンキウィッツ

Joseph L. Mankiewicz

生年月日 1909/02/11

出身地 アメリカ／ペンシルヴェニア州

没年 1993/02/05

関連人物 クリストファー・マンキウィッツ（息子）
トム・マンキウィッツ（息子）
ハーマン・J・マンキウィッツ（兄）
ローゼ・シュトラドナー（元妻）

【バイオグラフィ】

■本名Joseph Leo Mankiewicz。“シカゴ・トリビューン”紙の特派員としてベルリンに赴き、映画の英語字幕翻訳をするようになる。帰国後は兄で脚本家のハーマン・J・マンキウィッツを頼ってパラマウント社に字幕製作者として入社。やがてトーキーの時代に入り、映画のシナリオを執筆するようになった。36年から製作も担当するようになり、46年の「呪われた城」で監督デビューを果たした。洗練された会話やしゃれた演出が特徴で、49年の「三人の妻への手紙」と「イヴの総て」でアカデミー監督賞と脚本賞を獲得した。トラブル続きの「クレオパトラ」の演出を引き受けて貧乏くじを引いたが、72年の「探偵スルース」で再び評価を高めた。ローゼ・シュトラドナーとの死別など、結婚は3回。息子のクリストファーはプロデューサーに、トムは脚本家から監督となった。93年、心不全で死亡。

【フィルモグラフィ】

ナショナル・シアター・ライヴ2019／イヴの総て（2019）	作
探偵<スルース>（1972）	監督
大脱獄（1970）	監督, 製作
三人の女性への招待状（1966）	監督, 製作, 脚本
クレオパトラ（1963）	監督, 脚本
去年の夏 突然に（1959）	監督
静かなアメリカ人（1958）	監督, 脚本
野郎どもと女たち（1955）	監督, 脚本
裸足の伯爵夫人（1954）	監督, 脚本
ジュリアス・シーザー（1953）	監督
五本の指（1952）	監督
うわさの名医（1951）	監督, 脚本
イヴの総て（1950）	監督, 脚本
復讐鬼（1950）	監督, 脚本
他人の家（1949）	監督
三人の妻への手紙（1949）	監督, 脚本
踊る海賊（1948）	脚本
幽霊と未亡人（1947）	監督
ボストン物語（1947）	監督
呪われた城（1946）	監督, 脚本
記憶の代償（1946）	監督, 脚本

バックファイアー (1946)	監督, 脚本
王國の鍵 (1944)	製作, 脚本
女性N o. 1 (1942)	製作
再会のパリ (1942)	製作
フィラデルフィア物語 (1940)	製作
宿なしハックの冒険 (1939)	製作
激怒 (1936)	製作
豪華一代娘 (1936)	製作
地獄への挑戦 (1936)	製作
男の世界 (1934)	脚本
麦秋 (むぎのあき) (1934)	脚本
不思議の国のアリス (1933)	脚本
百萬圓貰ったら (1932)	脚本
空の花嫁 (1932)	原案, 脚本
恋とお月様 (1931)	脚本
スーキイ (1931)	脚本
スキピイ (1931)	脚色